

イカナゴ親魚調査結果概要

香川県水産試験場

平成25年7月31日、高松～庵治地先において空釣こぎによる親魚調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

1. 親魚密度

・速力3～5ノットで1定点5分曳きを原則3回おこない、この作業を高松2定点と庵治3定点の計5定点で実施しました。

・親魚密度（空釣こぎ1回当たりの採集尾数）は16.2尾でした(表1)。

・年齢組成は0才魚が93.2%，1才魚以上が6.8%でした(表1)。

・定点ごとの親魚密度は、高松地先St.2において最も高くなりました(図1)。

*年齢の起算日は1月1日とする（0才魚：平成25年1月1日生まれを示します）。

表1 親魚密度（空釣こぎ1回当たりの採集尾数）

		0才			1才以上			全体
		親魚密度 (尾/回)	割合 (%)	全長 (mm)	親魚密度 (尾/回)	割合 (%)	全長 (mm)	親魚密度 (尾/回)
H18	12月	23.8	45.2	77.1	28.8	54.8	119.6	52.6
H19	12月	4.4	46.0	83.7	5.2	51.0	111.5	9.6
H20	12月	7.4	96.0	89.2	0.3	4.0	124.6	7.7
H21	12月	1.6	31.0	90.2	3.6	69.0	130.5	5.3
H22	12月	14.2	99.5	88.9	0.1	0.5	141.6	14.2
H23	8月	11.7	82.2	76.9	2.6	17.8	126.4	14.3
	12月	7.4	71.3	78.9	2.8	28.7	127.2	10.2
H24	7月	101.5	99.5	76.3	0.5	0.5	138.9	102.0
	12月	20.5	84.1	81.4	3.9	15.9	144.0	24.3
H25	7月	15.1	93.2	76.9	1.1	6.8	118.0	16.2

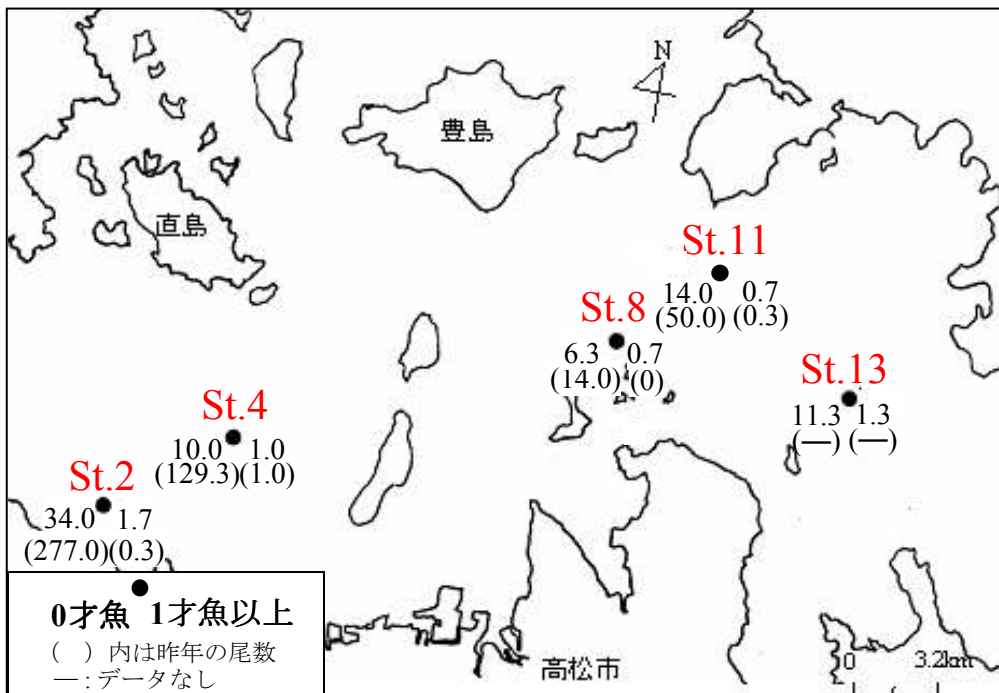


図1 調査定点ごとの親魚密度（空釣こぎ1回当たりの採集尾数）

2. イカナゴ親魚の全長組成

全長測定の結果を図2に示しました。

平均全長は0才魚が76.9 mm (n=202) , 1才魚以上が118.0 mm (n=16) でした。

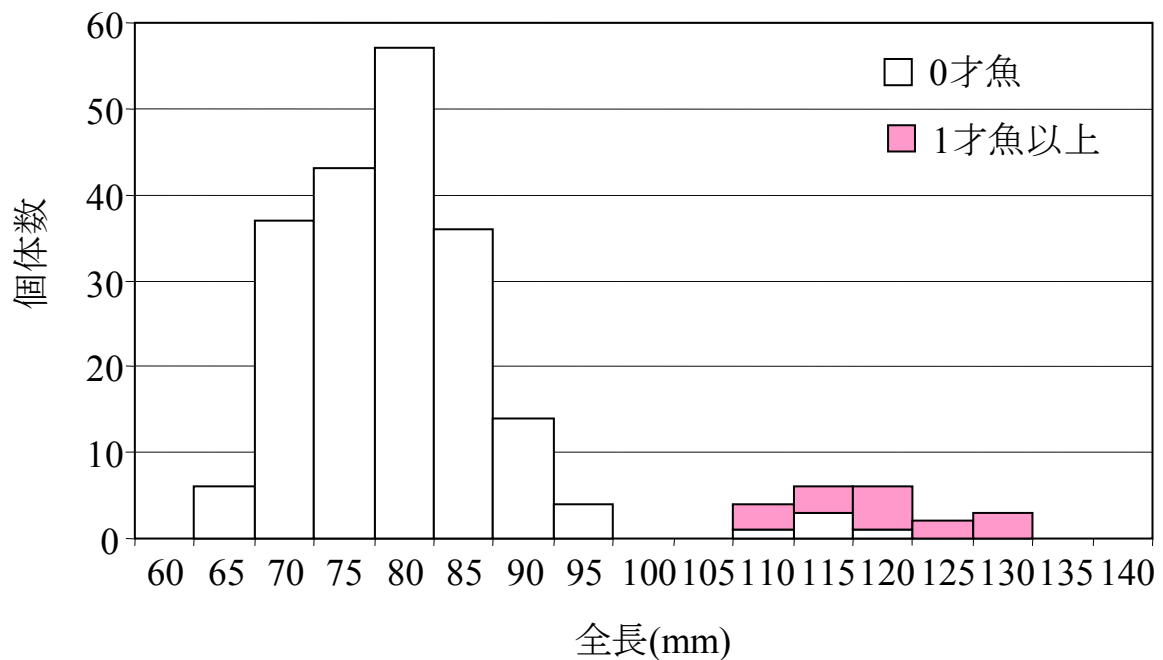


図2 イカナゴ親魚の全長組成

3. 今後の予定

○冬季の親魚調査

夏季と同様に高松～庵治地先の5定点において、12月～1月に2回実施する予定です。

○稚仔の出現状況調査

備讃瀬戸および播磨灘の23定点において、平成26年1月前半、後半および2月前半の計3回実施する予定です。